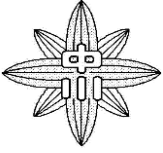


横浜市立



# 中川小 学校だより 12月

令和5年11月30日発行

学校教育目標 人・自然・まちとふれあいながら、自分を高める中川の子



『わたしらしく！あなたらしく！』

校長 二瓶 庄吾

映し出される漫画の1コマ。聞こえてくる生活音とその光景に、吹き出しのセリフが浮かんできます。でもセリフの声は聞こえません。

- ▶「オギャー、オギャー」赤ちゃんの泣き声から『はいは～い、今行くね～』『よしよし よしよし…』
- ▶ 学校の窓から教室の様子が見えます。『将来の夢はパイロットです』
- ▶ おもちゃ屋さんの棚にたくさんのくまのぬいぐるみが並んでいます。『ピンクのがいい！』
- ▶ 広い公園にサッカーボールがひとつ。『サッカーしようよ～』

そして最後に・・・『聞こえてきたのは、男性の声ですか？女性の声ですか？』

『無意識の偏見に気づくことから、はじめませんか。』

これは、公益社団法人ACジャパンのCM「聞こえてきた声」の一場面です。無意識のうちに性差や男女の役割について固定的な思い込みや偏見をもってしまうがちなことに気づき、ジェンダー平等について考えるきっかけになるようにと制作されたそうです。

私たちの社会には、こうした差別や偏見、いじめや虐待、インターネット上の人権侵害など多様な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人ひとりが、「人権」の意義・内容や重要性について理解し、自分以外の「誰か」のことではなく自分のこととして捉え、お互いの人権を尊重し合うことの大切さについて考え、学んでいくことが不可欠です。

学校では、「誰もが、一人ひとりが違うことを知り、それぞれの違いを大切にすること」を理解し、態度や行動に現れるように、様々な場面をとらえて人権教育を行っています。

12月4日～10日の人権週間では、道徳科の授業や福祉体験、人権福祉委員会の活動等、人権意識を高め実践につなげる機会として様々な活動に取り組んでいきます。一人ひとり「自分らしさ」を発揮し、周囲はそれを「あなたらしい」と認め共感し、大切にすることによって「自分らしさ」に自信がもて、より「自分らしさ」を発揮できるようになる…。このようなサイクルが広がり深まって、「個」を尊重しながらみんなと「つながり合える」心と態度を育てていきたいと思っています。

そこで…自分らしさ(個)の発揮、自己有用感を『わたしらしく』とし、他を認め共感し大切にすることを『あなたらしく』として、表裏一体(上下一体?)のこれらの言葉を、異なる方向からも読み取れるようにしたグラフィカルな文字『アンビグラム』に挑戦し表現してみました！

